

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
402	共時英語学研究 <Studies in English Synchronic Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
英語学	大室 剛志(OMURO Takeshi)		後期	金曜：2限
講義題目 Title	英語意味論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	生成文法の意味理論である概念意味論について講義を行う。英文で書かれたテキストを用い精読を行ない、英語の文献を正確に読む力を養うことも目的とするので英語学専攻の学生およびそれに準ずる英語力のある学生に履修していただきたい。			
授業の目的 Purpose	生成文法の意味理論である概念意味論を学びつつ、英語の動詞の意味、英語の意味と形の対応を理解することを目的とする。人間精神の中核をなす言語の形と意味とを扱う授業であるから、当然、来るべき時代と歴史に対する深い洞察力を持ち、言葉による論理的表現と研究推進を行う創造的能力によって、人文学の伝統を継承し発展させる意欲的な人材を育成する一助となる。 The purpose of this course is to study conceptual semantics as a semantic theory in generative grammar and to understand meanings of English verbs and correspondences between meanings and forms in English. This course, which deals with meanings and forms of language constituting a central part of human mind/brain, naturally leads to helping a student to acquire an ability to have a deep insight on history and future and to inherit the tradition of human sciences and develop them, through the ability of using logical linguistic expressions and the creativity of developing human studies further.			
授業の内容 授業の方法 Content	Jackendoff (2012)A User's Guide to Thought and Meaningの前期読み終えた箇所から精読するとともに要点を講義する。			
教科書 テキスト Textbooks	Jackendoff (2012)A User's Guide to Thought and Meaning, Oxford University Press.			
参考書 References	Jackendoff (1990) Semantic Structures, The MIT Press. 田中伸一・阿部潤・大室剛志(2000)『入門 生成言語理論』東京：ひつじ書房 中野弘三(編)(2012)『意味論』東京：朝倉書店 田中智之(編)(2012)『統語論』東京：朝倉書店			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業に参加する学生は全員その日の授業で進む箇所について予習をおこなうこと。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	およそ学期末テストが70%、議論への参加度30%の割合で成績を評価する。学期末テストは授業の内容の理解がどの程度であるかを測るものであるため、当然のことながら、授業内容の理解を深めるためには授業への出席および自宅学習が非常に重要である。			
連絡方法 Contact information	常の連絡は授業終了後に。授業以外の時間に連絡を取りたい人にはその都度対応する(文学部棟4階430大室研究室)。			